

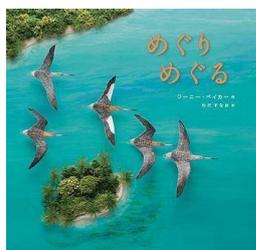
岡山県学校図書館協議会絵本研究部会

岡山県学校図書館協議会絵本研究部会では、「心をつなぐ絵本」という研究テーマのもと今年度も「SDG s とつながる絵本」をサブテーマとし、研究と実践を続けてきました。研究を通して確認された絵本と新しく出会った絵本の中から、読み聞かせたい絵本をお知らせします。

書名
著者

出版社 税込価格 出版年 実践学年

SDG s とつながる絵本



めぐりめぐる

ジーニー・ベイカー 作 わだすなお 訳

ポリフォニープレス ¥1,870 2021 幼～高

長い長い距離、北極圏から南半球まで1万キロ以上も移動していく渡り鳥。しかし地球環境の変化で、羽を休める干潟はどんどん減って……。自然への畏敬、生命の尊厳を深く考えさせられます。構図の素晴らしさ、緻密なコラージュにも見入ってしまう美しい絵本です。



森のおはなし

マーク・マーティン 作 おびただす 訳

六耀社 ¥1,650

2017 小～高

むかしむかし、あるところに林がありました。その林は深く生い茂った森になりました。その森の木を人間たちが切り始め、森はビルや工場に、そして都市にと姿を変えていきます。そうして残ったのは1本の木。1本の木から始まる自然のお話。自然の力を考えることができる一冊です。



おじいちゃんがのこしたものは・・・

マイケル・モーパーゴ 作 ジム・フィールド 絵

佐藤見果夢 訳 評論社 ¥1,760 2019 小～高

おじいちゃんが残した、孫娘のミアに宛てられた手紙。ミアは母親になった今も、クリスマスになると家族と一緒にその手紙を読み返します。この地球に生きるすべてのものが幸せに暮らすための願いがぎっしり詰まったおじいちゃんの手紙。SDG s を考えるきっかけにもなる心に響く一冊です。



おしっこ、うんこはどこに行く？

中川ひろたか 作 カワチ・レン 絵 アリス館 ¥1,540

2021 幼～高

「おしっこ、うんこってどこに行くのだろう？」というこどもの疑問。そこでお父さんとこどもは小さくなって一緒に探検し、ふたりで楽しく疑問を解決していきます。おしっこ、うんこが流れ着く先にはいったい何があるのか。生活排水を通して環境を考える絵本です。



せかいでいちばんつよい国

デビッド・マッキー 作 なかがわちひろ 訳

光村教育図書 ¥1,650 2005 幼～中

ある大きな国の人々は、自分たちの暮らしほど素敵なものはないと信じていました。その大きな国の大統領も、また同じように考えていました。国をもっと大きくして「世界中の人々を幸せにするため」に始まった戦争。最後に残ったのは、小さな国でした。そんな小さな国が教えてくれた平和の大切さ。戦争と平和について考える絵本です。



ブルーノ

Fukase 作 福音館書店 ¥1,650 2021 小高～高

ある日、すさまじい嵐がのどかな村を襲いました。村人のタルカスは王様の助けを待ちますが、王様はなかなかやってきました。その頃王様は……。両サイドが表紙になっていて、村人、王様それぞれの立場でストーリーが両端から進んでいく仕掛けのおもしろさも味わえます。



戦争をやめた人たち—1914年のクリスマス休戦—

鈴木まもる 文・絵 あすなろ書房 ¥1,650 2022 中～高

戦争中のドイツ軍とイギリス軍の兵士たちは、クリスマスイブの夜、共に戦うことをやめます。この絵本は第一次世界大戦で実際にあったクリスマス休戦を描いています。色鉛筆で描かれた落ち着いた色合いが、最後の空の色の鮮やかさを印象づけます。「この星に、戦争はいりません」という作者の言葉が強く胸に響きます。



そらいろのたね

なかがわりえこ 作 おおむらゆりこ 絵

福音館書店 ¥990 1967 幼～小

ゆうじは宝物の模型飛行機を、キツネの宝物の「そらいろのたね」と交換します。そらいろのたねを地面に植えて水をやると、空色の家が生えてきました。水をやるたびに大きくなる家に、聞いている子どもたちも大喜び。わくわくが詰まった夢いっぱい絵本です。



いちのたべもの

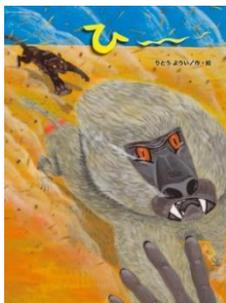
中川ひろたか 文 加藤休ミ 絵

おむすび舎 ¥1,540

2017 幼～小

今日の夕ご飯は寄せ鍋。お母さんとスーパーへお買い物。はくさい、とりにく、はまぐりにがんもどき。たくさんある食べ物は海の食べ物と陸の食べ物に分けられます。「人のからだは食べ物でできているの。」お母さんが話してくれた食べ物の話。読むと今日のご飯がおいしく感じられそうな食育にもぴったりの絵本です。

ハラハラドキドキする絵本



ひー

りとうようい 作・絵

すずき出版 ¥1,430

2021 幼～高

ひーひー！表紙のヒヒが逃げていきます。その後をヒョウが追いかけていきます。絵本を横に向けて下から上にめくっていくと、逃げるヒヒと追いかけるヒョウが絵本から飛び出てきそうで、なんとも迫力満点の展開です。



がっこうに まにあわない

ザ・キャビンカンパニー 作・絵

あかね書房 ¥1,650

2022 幼～中

家を飛び出してきた男の子は、おおあわてで必死に走っていきます。どうしてかって？今日は絶対に遅刻してはいけない日なのです。彼の行く手には、次々と想像もつかないような困難が待ち受けています。この男の子は学校に間に合うのかな？ページに書かれている時刻を見ながら、読み手も最後までハラハラドキドキの絵本です。

優しい気持ちになる絵本



あかちゃんがきた！

サトシン 作 松本春野 絵

アリス館 ¥1,430

2022 幼～小低

けんちゃんの家には赤ちゃんが来た。初めて見る小さな手、初めて触れる柔らかいほっぺ、初めて聞く大きな泣き声。けんちゃんはどんなことを感じたのでしょうか。だんだんとお兄ちゃんとしての気持ちが芽生え「大きくなったら一緒に遊ぼうね」と赤ちゃんに話すけんちゃん。子どもの目線でも、大人目線でも楽しめる心が温くなる一冊です。



はやくしなさい！

中川ひろたか 文 村上康成 絵

金の星社 ¥1,485

2022 幼～小低

「早く着替えて」「早く顔を洗って」朝から早く早く急かされる男の子。「ママはどうしてそんなに早く早くって言うの？」と質問する男の子。ママの話最後まで聞いた男の子は笑顔で急いで支度をします。ママが「早く早く」と急かせていた理由とは？読み進めると自然と笑顔になれる一冊です。

ユニークな絵本



ヒキガエルがいく

パク ジオンチェ 作 申明浩・広松由希子 訳

岩波書店 ¥1,980 2019 幼～高

山からおりてきたヒキガエルたちが、だんだんと集まってきて、さまざまな障害を乗り越えながら、産卵のために池まで旅をします。「トン!」「ドドン!」と太鼓のリズムで表現されたカエルの様子が、とてもユーモラスに描かれています。